

目次

設定メニューのトリガ & 動作設定	1
使用可能な作業条件	1
カスタム出力シグナルの設定	2
BioStarでのEメール警報設定	4

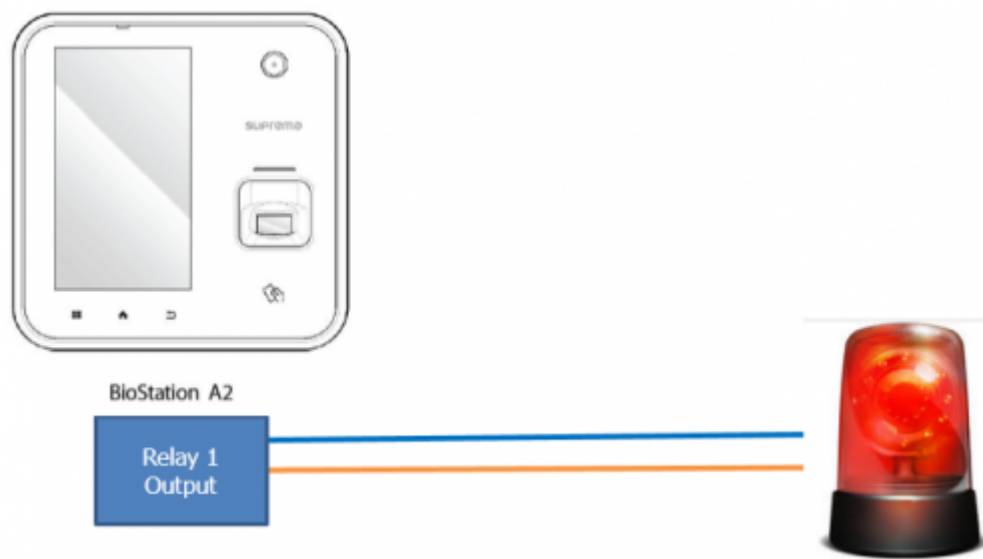
システム構成, BioStar 2, トリガ & 動作

設定メニューのトリガ & 動作設定

トリガ &

動作機能は、アラームイベントが発生した場合にデバイスからカスタム出力シグナルを送信したり、管理者にE

メールを送信する際に使用します。例えば、この機能を使ってこじ開けアラームが作動する際にアラームランプが点灯するようにでき、システムはこれと同時に管理者にEメールを送信します。



使用可能な作業条件

下記は設定メニューの作業条件で使えるイベントリストです。

- スーパーバイズド入力(オープン)
- スーパーバイズド入力(ショート)
- タンパーON
- RS-485切断
- デバイス再起動

Supervised InputはDM20とともに使用されます。詳細内容は [DM-20 Wiring Examples](#)を参照してください。

ドアに対し使用できるイベント:

- ドア・開放異常アラーム
- こじ開けアラーム
- ドア・開放異常
- こじ開け

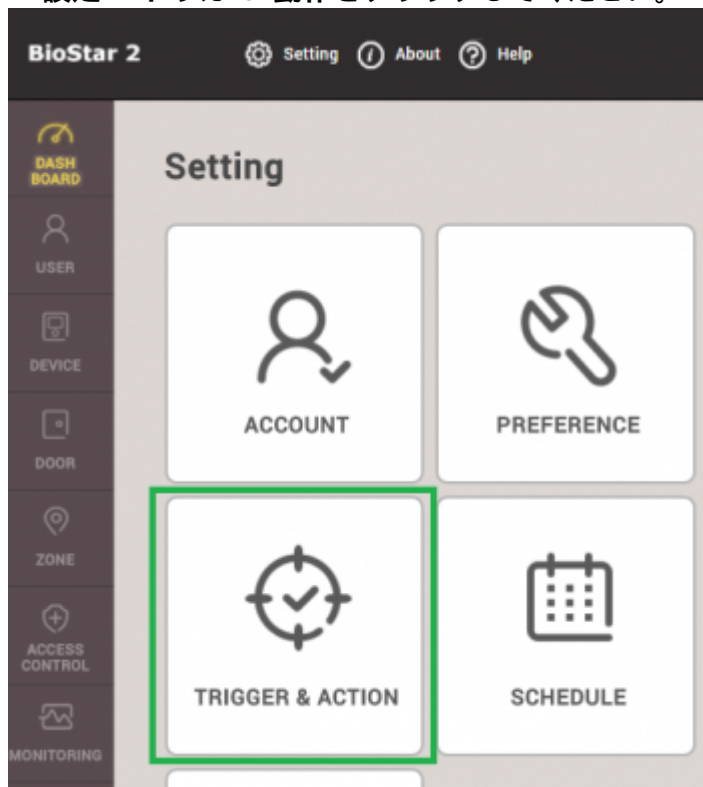
ゾーンに対し使用できるイベント:

- スケジュールロックゾーンアラーム感知
- 火災警報ゾーンアラーム感知
- アンチパスバックゾーンアラーム感知

カスタム出力シグナルの設定

下記のシナリオでは、こじ開けイベントがある際にA2からカスタムシグナルを送信します。

1. 設定 > トリガ & 動作をクリックしてください。

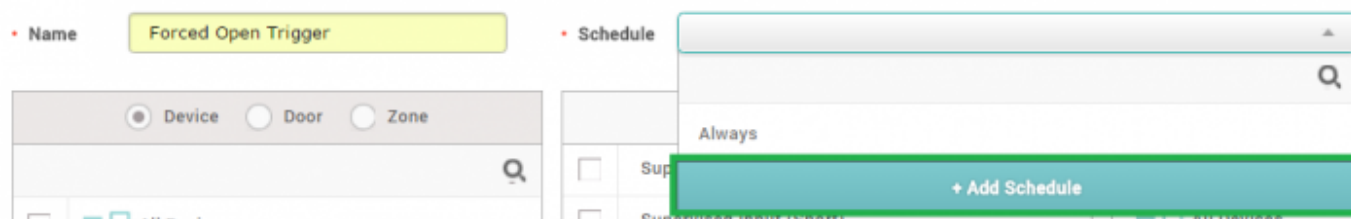


2. トリガ & 動作追加をクリックしてください。



3. 名前入力欄にこの作業条件名を入力してください。

4. スケジュールドロップボックスをクリックします。**+スケジュールの追加**をクリックしてください。事前に構成されたスケジュールがある場合には選択して使用できます。



5. 必要に応じてスケジュールを構成し、適用をクリックしてください。この場合には、日曜日を除く全ての曜日に作業条件を使用する予定です。

6. 次に、**スケジュール**ドロップボックスから新しく生成されたスケジュールを選択してください。

7. **ドア**のラジオボタンを選択してください。

8.

このスケジュールが影響を与えるドアを選択してください。この例では、ドア3にA2が設置されています。

9. こじ開けを確認表示してください。

10. デバイス(A2)を選択してください。

11. リレー0はドアロックにすでに使われているため、リレー1が出力に使用されます。

12. **シグナル**ドロップダウンボックスをクリックしてください。

13. **シグナル追加**をクリックしてください。

14. 希望に応じて詳細情報を埋めて適用をクリックしてください。



Add New Signal

• Name: Signal for Forced Open

Signal

• Delay(ms): 0

• Counts: 25

• ON: 4

• OFF: 1

Apply Cancel

15. **シグナル**ドロップボックスをクリックした後、先ほど生成したシグナルを選択して**適用**をクリックしてください。

16. これで、こじ開けイベントが発生する際に、カスタムシグナルがリレー1に送信されます。

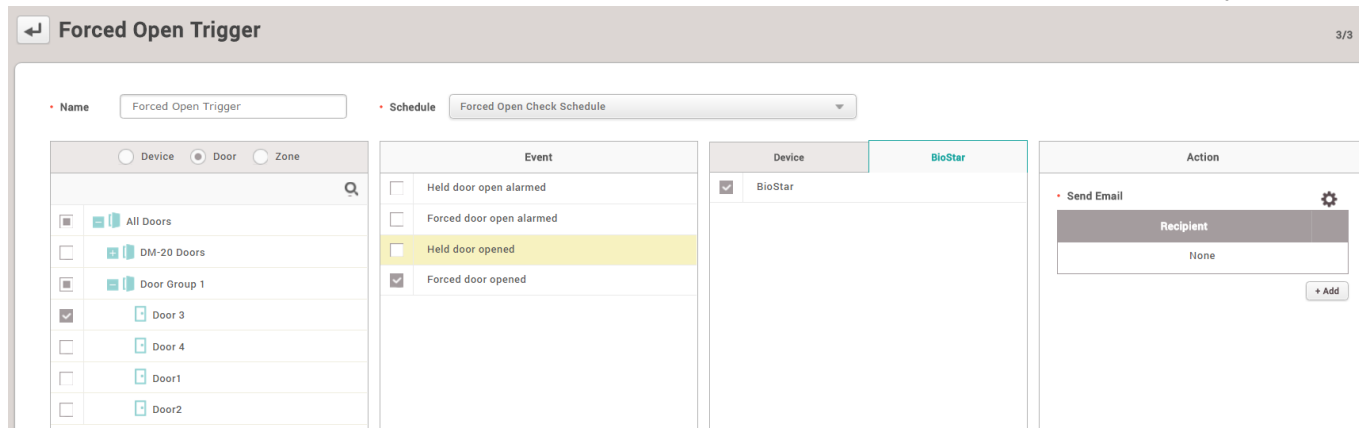
Real-time Log

Save Filter II Pause Clear ...

Date	Door	Device ID	Device	User	Zone	Event	View
2016/08/03 14:54:01	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Door closed	
2016/08/03 14:53:59	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Forced door opened	

BioStarでのEメール警報設定

1. **設定 > トリガ & 動作**をクリックしてください。
2. 希望の作業条件をクリックしてください。
3. デバイスおよびBioStarタブから**BioStar**をクリックしてBioStarの確認表示をしてください。



Forced Open Trigger 3/3

• Name: Forced Open Trigger • Schedule: Forced Open Check Schedule

Device Door Zone

All Doors DM-20 Doors Door Group 1 Door 3 Door 4 Door1 Door2

Event

☐ Held door open alarmed

☐ Forced door open alarmed

☐ Held door opened

☒ Forced door opened

Device BioStar

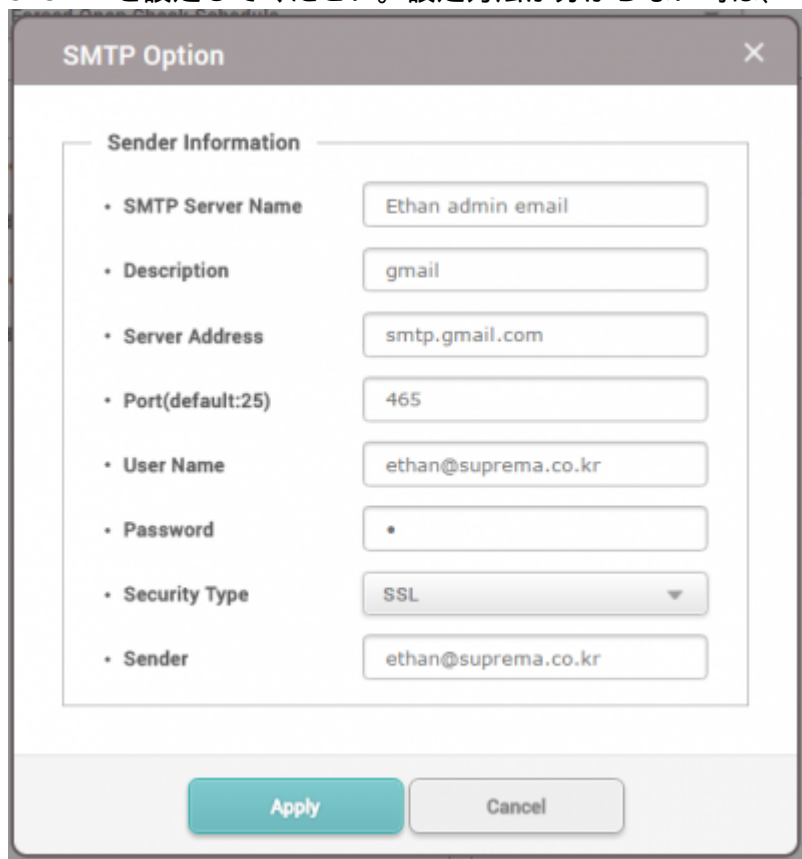
Action

Send Email

Recipient: None

+ Add

4. 動作タブから歯車アイコンをクリックしてEメールを設定してください。
5. SMTPを設定してください。設定方法が分からない時は、IT管理者にお問い合わせください。

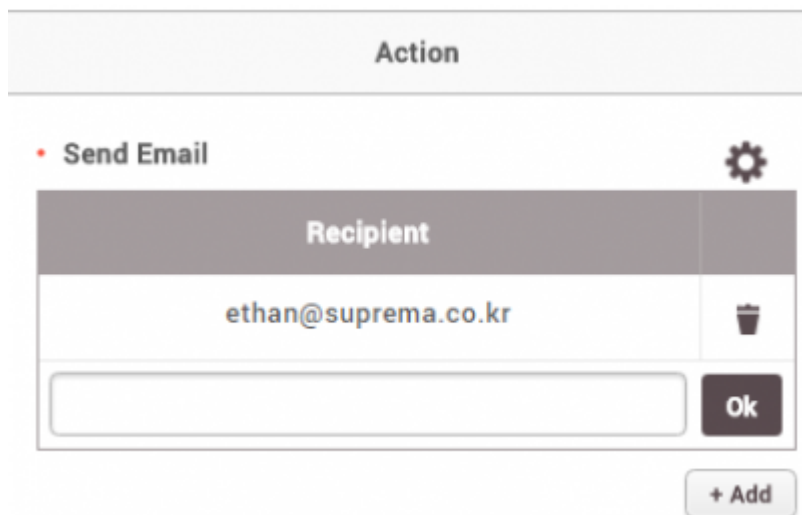


The image shows a dialog box titled "SMTP Option" with a close button (X) in the top right corner. It contains a "Sender Information" section with the following fields:

- SMTP Server Name: Ethan admin email
- Description: gmail
- Server Address: smtp.gmail.com
- Port(default:25): 465
- User Name: ethan@suprema.co.kr
- Password: *
- Security Type: SSL (dropdown menu)
- Sender: ethan@suprema.co.kr

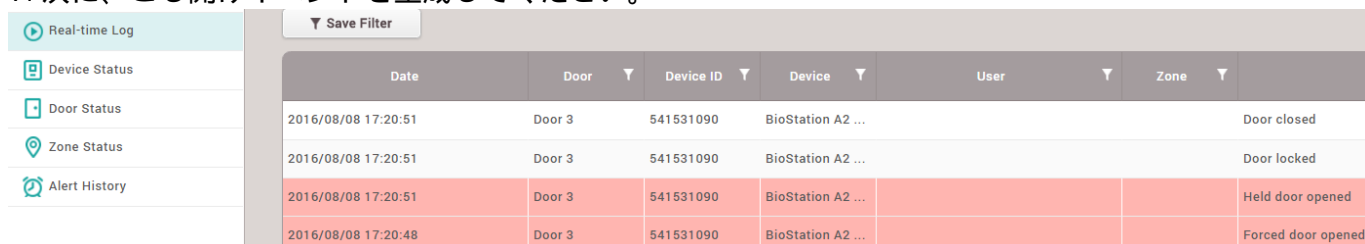
At the bottom of the dialog are two buttons: "Apply" (highlighted in teal) and "Cancel".

6. 受信者を追加して適用をクリックしてください。



The image shows a "Send Email" dialog box with a gear icon in the top right corner. It has a "Recipient" section with a list of email addresses. The first recipient is "ethan@suprema.co.kr", which has a trash icon next to it. Below the list is an "Ok" button and a "+ Add" button.

7. 次に、こじ開けイベントを生成してください。



The image shows a "Real-time Log" table with a "Save Filter" button at the top. The table has the following columns: Date, Door, Device ID, Device, User, Zone, and an unlabeled column for event details. The data rows are as follows:

Date	Door	Device ID	Device	User	Zone	
2016/08/08 17:20:51	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Door closed
2016/08/08 17:20:51	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Door locked
2016/08/08 17:20:51	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Held door opened
2016/08/08 17:20:48	Door 3	541531090	BioStation A2 ...			Forced door opened

8. 管理者が警報Eメールを受信します。

[BioStar Alert] Forced door opened

받은편지함 x

Sent to Me x

**Biostar Alarm Manager** <ethan@suprema.co.kr>

나에게 ▾

Datetime: 2016-08-08 08:20:48(+00:00)

Server Datetime: 2016-08-08 17:19:35

Event: Forced door opened

Device ID: 541531090

Device Name: BioStation A2 541531090 (192.168.16.192)

Door: 15

Door Name: Door 3

From:

<http://kb.supremainc.com/knowledge/> -

Permanent link:

http://kb.supremainc.com/knowledge/doku.php?id=ja:how_to_configure_trigger_and_actionLast update: **2019/08/27 14:16**